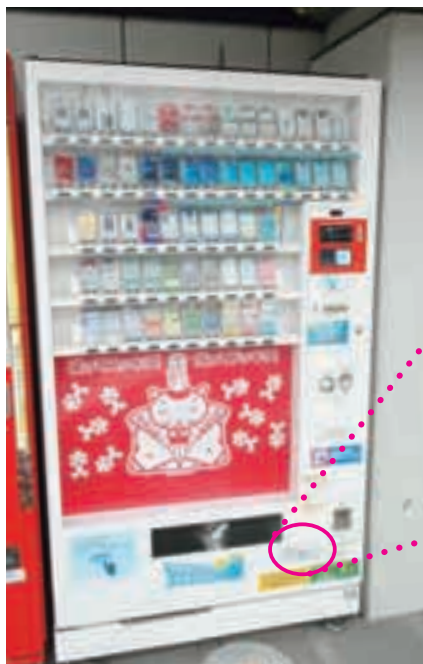


屋外に多く設置されている、たばこや飲料水などの自動販売機。これらの自動販売機が街の案内板になることをご存じですか。

屋外に設置されている自動販売機には、その場所の住所を表示したステッカーが付いています。

これは、見知らぬ場所で事故や火災などに遭遇し、携帯電話で110番や119番に通報するとき、その住所が分からないということが多くあったことから、自動販売機業界が、警察や消防長会と連携して「住所表示ステッカー」を2005年から自動販売機の前面に張り付けるようになりました。

今後、警察や消防署に通報するような緊急事態のときに、また、自分のいる場所の住所が分からないときや道に迷ったときなどには、自動販売機の「住所表示ステッカー」を思い出し、役に立ててください。



拡大写真



ご存じですか！
自動販売機の「住所表示ステッカー」を

No. 17

防災安全課
内線 276

男女共同参画⑰

子育てママの再チャレンジ

子育てをしながら働きたいと思う女性は少なくありません。そのニーズに合わせて、無理なく続けられるような柔軟な働き方が出てきました。

例えば、インターネットなどを用いて仕事をするテレワーク。通勤時間の短縮や在宅勤務が可能となり、希望する場所・時間帯で働けるため、子育て中の女性にも無理のない働き方として注目されています。

また、自作の雑貨などをネット販売したり、趣味や資格を生かして自宅で教室を開いたり、といった働き方もあります。

多治見市に、「mamas Cafe」(ママズカフェ)というお店があります。「ここはスタッフ全員が子育て中のママで、子ども同伴で働いているという珍しい職場です。

以前、その代表者の講演を聴講しました。「子連れでも気兼ねなくランチが食べたい」「子育てしながら社会参画もしたい」といったママ友との会話が、お店を立ち上げるヒントになったそうです。子育てしながらの仕事だからといってルーズにならないよう、責任感を持たせるために、研修会を開催するなどしてレベルアップを図り、働くママたちが利益と生きがいを得られるような仕組みをつくりあげています。

子育てママたちのためにつくったお店は、同時に、そこで働くママスタッフたちの居場所でもあるといえます。とても素敵な職場ですよ。

あなたも、自分に合った働き方を見つけて、再チャレンジしてみませんか。

(文責 岩田)

シリーズ

『男と女』